



命の尊さを考える教育

市では、命を大切にすることを育み、相手の立場を理解して、思いやりの心で接する態度を養う教育を進めています。

3月6日(火)に、2つの中学校で授業を行いました。

●命の大切さや尊さを学習(山王中学校)



3年生118人が、現役の助産師から、命の大切さを学びました。

講師は、学校近くにある助産院の井深佳代子院長。どのように赤ちゃんが生まれてくるのか分かりやすく説明し、「命は両親からもらった大切なもの。その『いのちのバトン』はあなた達がつないでいきます」と命の大切さを伝えました。また、「高校生活では、辛いことや悲しいこともあると思います。そんなときは、お家の人に相談してください。必ず受け止めてくれるから」と一人ひとりに語りかけるように話しました。

生徒からは「これからも自分のことを大切に、相手への感謝の気持ちも忘れずに、未来に向かって歩んでいきます」などの感想がありました。

●認知症サポーターが誕生(入間野中学校)

3年生174人が、認知症サポーターになるための講座を受けました。



生徒が、中学校を卒業しても地域で困っている人がいたら手を差し伸べられるようにと開催したもので、講師の市職員と地域包括支援センターの職員たちによる寸劇などをおして、認知症についての理解を深めました。また「認知症の祖母への対応、自分ならどうする」をテーマに、生徒が参加するワークも行われ、「驚かせない」「急がせない」「自尊心を傷つけない」という三つの心得も学びました。

終了後に認知症サポーターの証し「オレンジリング」を受け取った生徒からは「学んだことを生かし、家族や地域と接していきたい」などの声も聞かれ、思いやりの心を持って生活することの大切さを再認識する機会となりました。

どこから切ってもきれいなお寿司

3月13日(火) / 子育て応援講座「飾り巻き寿司」(新狭山公民館)

季節の食卓をかわいいた巻き寿司で飾ろうと、女性12人が参加しました。巻き方を工夫し、カットして現れたのは桃の花。視覚と味覚の両方を楽しめました。



いやしの音色を奏でよう♪

3月2日(金) / 初心者ウクレレ教室(奥富公民館)



ウクレレの持ち方から学ぶ講座に11人が参加。思うように指が動かず苦戦した参加者も、最後は全員で「きらきら星」を弾けるまでになりました。

28年度さやま市民大学地域ジャーナル講座の修了生がお届けします さやま・リポート 狭山自慢⑫



もうすぐバラの季節ですね。昔から「想い人に気持ちを伝える花」として用いられ、中でも赤いバラは、愛のシンボルとして多くの物語に登場しています。

贈る本数で意味が異なり、3本では「愛しています」、12本では「恋人になってください」、108本では「結婚してください」となります。そんなロマンチックなバラが咲き誇るのが、智光山公園都市緑化植物園のバラ園です。

5月12日(土)から開催する「春のバラフェスタ」では、80品種約700株の色鮮やかなバラが次々に開花し、園内は芳醇な香りで包まれます。開催期間中は、コンサートやバラの苗木販売、フリーマーケット、模擬店のほかに、園の相談員によるバラのワンポイントガイドなども行われます。さらに夜になると、ライトアップされて妖艶なバラに姿を変えます。

初夏の一日をバラ園でお楽しみください。

◆春のバラフェスタ

期間5月12日(土)～31日(木) 場所・問合せ都市緑化植物園(柏原622)へ ☎2952-6131

スイーツとSNSで狭山の魅力を発信

3月18日(日) / さやまスイーツフェス(市民交流センター)

市内4大学と市との協定で実現した、大学生プロデュースのイベント。スイーツの展示やフォトスポットを設置したほか、スイーツ作りの実演や湯茶接待も行われ、会場は来場者の笑顔で包まれました。



ぎ会逸おわ場品店いはを自大求慢にめの

音楽を通じた生涯学習の勧め

3月17日(土) / ミュージックフェスティバル(市民交流センター)

公民館や小学校で活動している幅広い年代の10団体が出演。吹奏楽やハンドベルの演奏などを披露したほか、普段の活動を映像で紹介し、多くの人に生涯学習への関心を深めてもらいました。



をとり、音楽を楽しみました

介護予防は元気なうちから

3月8日(木) / ロコモ体操(市民総合体育館)

「ロコモ」とは、体の運動機能が低下し、立ったり歩いたりすることができなくなること。参加者は、ロコモを予防するためのストレッチ、椅子やボールを使って自宅でもできる体操を学び、いつまでも健康でいられる体力づくりに励みました。



無理は禁物！毎日続けることで効果が表れます



あなたが写っていませんか？広報さやまに掲載した写真は、広報課で撮影したものでしたら無料で差し上げます。広報課までご連絡ください。

大好きな「おりぴい」と遊んだよ！

3月11日(日) / おりぴいとあそび☆大作戦(旧入間中学校)

七夕の妖精「おりぴい」との触れ合いイベントに、175人の親子連れが参加しました。参加者は「おりぴい」と一緒にクイズやミニライブを楽しみ、フィナーレでは全員で手拍子しながら童謡「みんなともだち」を合唱。大好きな「おりぴい」がさらに好きになりました。



「おりぴい」は、大人も子どももみんなを笑顔にしてくれます

シイタケづくりで里山体験

3月18日(日) / シイタケのコマ打ちとシイタケ狩り(上赤坂地内)

堀兼・上赤坂公園に隣接する平地林で行った体験会に親子連れなど35人が参加しました。クヌギなどの原木に、シイタケ菌がしみ込んだコマを打ち込み、仕込みは完了。自分で採ったシイタケも堪能し、貴重な里山の魅力を感じる一日になりました。



原木は持ち帰って、1年後の収穫を楽しみに待ちます